
「シリコンオイル抜去前後に記録された皮膚電極網膜電図(ERG)による網膜機能評価」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016年11月1日から2024年4月30日の期間に埼玉医科大学病院アイセンターを受診し、網膜剥離、糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症などの難治性疾患に対し硝子体手術が行われ、加療に必要と判断されシリコンオイル(SO)注入が行われた症例で、タンポナーデ中とSO抜去後に皮膚電極網膜電図(皮膚電極 ERG)が記録されていた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

網膜機能を予測できる可能性を調査・検討することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年5月27日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、性別、手術適応となった網膜疾患、視力、眼圧、治療内容、前眼部所見、中間透光体所見、眼底所見、光干渉断層計(OCT)などの画像所見、角膜内皮細胞数、瞳孔径、術式およびSO注入期間
※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である金井紀里香が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

- ・受診時に取得されていた検査データおよび診療記録を用います。
- ・網膜剥離、糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症により硝子体手術が必要となり、SOを硝子体腔に注入し留置した状態と抜去後にそれぞれ皮膚電極 ERG を記録します。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学病院 眼科 金井 紀里香(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点での既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 眼科 視能訓練士 金井 紀里香

住所:〒350-0495 埼玉県毛呂山町毛呂本郷 38

電話:049-276-1295 (土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名:シリコンオイル抜去前後に記録された皮膚電極網膜電図(ERG)による網膜機能評価

○研究責任者:埼玉医科大学病院 眼科 金井 紀里香